

2020年11月11日

上場会社名 東京応化工業株式会社
 コード番号 4186 URL <https://www.tok.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 種市 順昭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高瀬 興邦

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	86,088	15.3	10,955	57.5	11,215	59.5	7,362	78.7
2019年12月期第3四半期	74,642	4.0	6,957	10.0	7,030	10.7	4,120	23.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 8,461百万円 (126.7%) 2019年12月期第3四半期 3,733百万円 (26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	177.62	177.14
2019年12月期第3四半期	98.85	98.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	191,984	154,622	76.5	3,539.76
2019年12月期	186,486	151,733	77.5	3,491.23

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 146,874百万円 2019年12月期 144,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		60.00		60.00	120.00
2020年12月期		60.00			
2020年12月期(予想)				90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日公表いたしました「剰余金の配当(設立80周年記念配当)に関するお知らせ」のとおり、2020年12月31日を基準日として、総額1,252百万円(1株あたり30円00銭)の記念配当を予定しており、上記合計には記念配当30円00銭を含んでおります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,700	8.6	13,800	44.6	14,100	45.3	9,600	77.4	231.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	45,100,000 株	2019年12月期	45,100,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	3,607,278 株	2019年12月期	3,711,937 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	41,447,162 株	2019年12月期3Q	41,680,922 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制されたため、景気が落ち込みました。

このような情勢の下、当社グループは、成長軌道への回帰を目指し、2021年度を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」に掲げた全社戦略の遂行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

材料事業においては、パソコンやデータサーバー向けの半導体需要が堅調に推移したため、売上は前年同期を大幅に上回りました。また、装置事業におきましても、出荷済み装置の検収が進んだことから、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は860億88百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は109億55百万円（同57.5%増）、経常利益は112億15百万円（同59.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73億62百万円（同78.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 材料事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、845億95百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は、146億88百万円（同46.5%増）となりました。これは、エレクトロニクス機能材料部門および高純度化学薬品部門の売上がともに好調に推移したことが主な要因であります。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	73,236	84,595	11,359	15.5%
営業利益	10,024	14,688	4,663	46.5%

部門別の概況は、次のとおりであります。

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年同期を上回る484億20百万円（同13.2%増）となりました。これは、ディスプレイ用フォトレジストにおいて、スマートフォン需要の減退による影響を受け中小型ディスプレイの市場環境が悪化したことにより売上が減少したものの、パソコンやデータサーバー向けなどの旺盛な半導体需要に支えられ、アジア地域において半導体用フォトレジストや、高密度実装材料の販売が好調に推移したことが主な要因であります。

高純度化学薬品部門の売上高は、前年同期を上回る360億94百万円（同18.6%増）となりました。これは、ディスプレイ用フォトレジスト付属薬品において、中小型ディスプレイの市場環境が悪化したため、売上が減少したものの、台湾向けの最先端半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移したことが主な要因であります。

② 装置事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、14億92百万円（前年同期比6.2%増）となり、営業損失は、前年同期比16百万円悪化し、4億34百万円となりました。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,405	1,492	86	6.2%
営業損失(△)	△418	△434	△16	—

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,919億84百万円で、前連結会計年度末に比べ54億98百万円増加いたしました。

流動資産につきましては70億92百万円増加いたしました。これは現金及び預金が66億64百万円増加したことに加え、たな卸資産が7億45百万円増加したことが主な要因であります。

固定資産につきましては15億93百万円減少いたしました。これは減価償却等により、有形固定資産のその他が14億19百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、373億62百万円で、前連結会計年度末に比べ26億9百万円増加いたしました。これは未払金や設備関係未払金など、流動負債のその他が12億34百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が14億53百万円、賞与引当金が11億97百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,546億22百万円で、前連結会計年度末に比べ28億88百万円増加いたしました。これは配当金の支払により50億7百万円、円高により為替換算調整勘定が6億52百万円それぞれ減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を73億62百万円確保したことが主な要因であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月6日に公表いたしました業績予想数値から変更しておりません。

また、為替相場は105円/\$を想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症は、今後の経過によっては、当社グループの経営成績および財政状態の状況に影響を及ぼす可能性があります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位への利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけており、長期的な視点に立ち、財政状態や業績等を総合的に勘案したうえで、企業競争力の強化や収益の拡大につながる内部留保の確保に意を用いる一方、株主各位への安定的かつ継続的な利益還元を実施するため、DOE（連結純資産配当率）3.5%を目途とする配当を継続的に実施することを基本方針としております。また、長期的な見地からの株主還元策として自己株式の取得を弾力的に対処することとしております。

当期末配当金につきましては、2020年10月に設立80周年を迎えたことに対して株主各位への日頃のご支援に感謝の意を表するため、1株あたり30円の記念配当の実施について2021年3月下旬開催予定の当社第91回定時株主総会に承認を求める提案を取締役会において決議いたしました。このことにより、当期末配当金は、普通配当60円に記念配当30円を合わせ1株当たり90円、年間配当金は、すでに実施済みの中間配当金60円と合わせて150円、2020年12月期通期業績予想に基づくDOEは4.2%となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,405	53,069
受取手形及び売掛金	23,887	23,873
有価証券	2,999	2,999
商品及び製品	7,022	7,681
仕掛品	4,312	4,099
原材料及び貯蔵品	6,105	6,405
その他	2,645	2,338
貸倒引当金	△95	△93
流動資産合計	93,282	100,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,602	27,191
その他(純額)	27,454	26,035
有形固定資産合計	55,057	53,226
無形固定資産		
	661	574
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	3,204	3,541
長期預金	18,000	18,000
その他	16,293	16,280
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	37,485	37,808
固定資産合計	93,204	91,610
資産合計	186,486	191,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,345	11,799
未払法人税等	700	1,481
賞与引当金	1,827	3,024
その他	7,442	6,207
流動負債合計	20,316	22,513
固定負債		
長期借入金	11,272	11,119
退職給付に係る負債	436	446
その他	2,727	3,283
固定負債合計	14,437	14,849
負債合計	34,753	37,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	120,908	123,231
自己株式	△14,969	△14,543
株主資本合計	135,787	138,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,695	6,016
為替換算調整勘定	2,866	2,214
退職給付に係る調整累計額	145	106
その他の包括利益累計額合計	8,707	8,338
新株予約権	379	304
非支配株主持分	6,858	7,443
純資産合計	151,733	154,622
負債純資産合計	186,486	191,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	74,642	86,088
売上原価	50,182	56,167
売上総利益	24,459	29,921
販売費及び一般管理費	17,502	18,965
営業利益	6,957	10,955
営業外収益		
受取利息	74	70
受取配当金	201	238
デリバティブ評価益	512	212
その他	204	211
営業外収益合計	992	732
営業外費用		
支払利息	46	45
為替差損	689	219
租税公課	169	187
その他	13	21
営業外費用合計	919	473
経常利益	7,030	11,215
特別利益		
固定資産売却益	19	150
特別利益合計	19	150
特別損失		
固定資産除却損	114	32
投資有価証券評価損	-	269
出資金評価損	536	-
その他	0	-
特別損失合計	651	301
税金等調整前四半期純利益	6,398	11,064
法人税、住民税及び事業税	1,448	2,148
法人税等調整額	△13	38
法人税等合計	1,435	2,187
四半期純利益	4,963	8,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	842	1,514
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,120	7,362

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,963	8,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	512	320
為替換算調整勘定	△1,718	△698
退職給付に係る調整額	△24	△38
その他の包括利益合計	△1,230	△415
四半期包括利益	3,733	8,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,194	6,992
非支配株主に係る四半期包括利益	538	1,468

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2019年8月7日開催の取締役会決議により、当社の福利厚生制度を拡充するとともに、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、「信託型従業員持株プラン」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

本プランは、「東京応化社員持株会」(以下、「当社持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「東京応化社員持株会信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、その設定後5年間にわたり、当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得し、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

本プランは、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ると同時に、福利厚生の増進策として、当社持株会の拡充を通じて従業員の株式取得および保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを狙いとしています。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度1,268百万円、304千株、当第3四半期連結会計期間1,116百万円、267千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度	1,272百万円
当第3四半期連結会計期間	1,119百万円

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,236	1,405	74,642	—	74,642
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	37	38	△38	—
計	73,237	1,443	74,680	△38	74,642
セグメント利益または 損失(△)	10,024	△418	9,606	△2,648	6,957

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,648百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△2,648百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であ
 ります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,595	1,492	86,088	—	86,088
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	46	49	△49	—
計	84,598	1,538	86,137	△49	86,088
セグメント利益または 損失(△)	14,688	△434	14,253	△3,298	10,955

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,298百万円には、各報告セグメントに配分していな
 い全社費用△3,298百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であ
 ります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。